

薩摩川内市立水引中学校「学校だより」011217号

# みずひき

〒 899-1921 鹿児島県薩摩川内市水引町 7602 番地 1  
TEL 0996-26-2104 FAX 0996-26-3908



## 「令和元年の締めくくりに考えてほしいこと」

校長 十田 孝志

令和元年も締めくくりに近づいています。今年1年間、保護者や地域の皆様方には本校教育活動へのご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。お陰様で大過なく新年を迎えられそうです。

さて、先日の学校保健委員会ではLINE(株)の講師による「情報教育モラル講座」を開催しましたところ、多くの保護者の皆様にもご参加いただきました。講座の中では、SNSを利用して相手に気持ちを伝えるには文字やスタンプだけの情報では限界があることや、人はそれぞれ考え方や感じ方、許せることや嫌なことも違うということ、みんなで考えることができました。「相手にメッセージを送信した時に『既読』のサインが付くまでどのくらい待てますか?」「皆さんの直ぐっていう時間はどのくらいですか?」との質問に、「5分しか待てない」という人や「1日は待てる」と答えた人もいたように、みんなそれぞれ思いや考え方は違います。講師の方は「自分の物差しで人を判断するのではなく、相手の気持ちを汲み取る想像力が大事なのです」とも話されていました。また、その後の学級PTAの資料には、先日発表された、**ゲーム使用状況等に関する全国調査**の新聞記事のコピーを付けてありましたが、それによると、ネットを利用したオンラインゲームをする時間が長くなればなるほど学業成績が低下し、ひどいものは引きこもりや家族への暴力等も起こっているとのことでした。本校でも、家庭生活に少なからず影響が出ている生徒もいます。今年5月、世界保健機関(WHO)でも、ゲーム障害をアルコールやギャンブルなどの依存症と同じように治療が必要な病気として認定しました。本校の生徒達には、この冬休みを良い機会と捉え、自分自身をコントロールできる今のうちに、親子で具体的に生活リズムの見直しをしてほしいと願っています。

先日行われました「川薩地区税の作文コンクール」において、3年生の荒武美優さんが「南九州税理士会川内支部優秀賞」を、同じく3年生の中村友紀君が「川薩地区租税教育推進協議会会長賞」をそれぞれ授賞しましたので以下に紹介します。

### 「世の中を変えるには」

水引中学校 3年 荒武 美優

税金とは、租税として納める金銭である。つまり、国や地方公共団体が、公共財や公共サービスの経費として、法令の定めに基づいて国民や住民に負担を求める金銭である。今の私は、「税金」と聞けば、「どんなところで使われているのか」など分かっているが、小学校6年生の時は全然理解していなかった。その時の私は、「税金なんて買い物時に払うもの」と思っており、「知らない」と思っていた。

6年生のある日、租税教室が開かれた。「めんどくさい」と思う反面、「どんなことに使われているのか知れる」と思うところもあり、少しだけ興味がわいていた。「もし税金がなかったら・・・」というDVDを見た。税金が道路や学校、消防士にも使われていると知りすごく驚いた。「この世の中に税金があつて良かった」とその時初めて思った。これからは大切にしていきたいと思った。

しかし、最近では税金のありがたさや大切にしたいという気持ちがどんどん薄れてきていた。その頃、また租税教室が開かれた。小学生の時とはDVDの内容も話の内容も違い、知らなかったことを知る良い機会になった。特に一番心に残ったのは、少子・高齢化についてだ。2000年には、3.6人で高齢者1人を支えていたが、2050年には1.3人で約1人を支えていかなければいけない。税金から、介護・福祉の給付金や年金が出ている。だが、高齢化の進展に伴い、「社会保障給付金」と「社会保険料収入」との差が広がっている。この差は、税金だけではなく多額の借金によってまかなわれている。そのまま放置をすれば、社会保障制度を維持するのが困難になる。差を縮めれば良いと思ったが、差を縮めるには給付金を少なくするか、保険料を上げるしかない。でも、実際に試そうにも人々が反対するのが目に見えている。おじいさん、おばあさんが長生きすることに国の借金が増えていくなんで残酷な話だ。

このように、世の中を変えるには税金のことを知っている大人達が次の世代に伝えなければ何も始まらない。自分が伝えた子供達が世の中を変えてくれるかも知れない。私は、これからはまずは自分のものにかかわらず税金で作られたものを大切にしていきたいと思う。税金を無駄遣いするのではなく、一人一人が気をつけることがどんどん広がっていき、「税金って無駄じゃないね」と思わせることができると思う。一人の心がけ次第で、世の中は変えることができると思う。だから、私はこれからも税を大切にしていきたい。これからも私は税のことについて勉強していきたい。

私達はこれから自分たちで未来を切り開いていく。何十年、何百年後も税金があり、きれいな道路、建物があり、笑顔が絶えないそんな世の中に私はしていきたい。

### 「生活と税」

水引中学校 3年 中村 友紀

私達の身の回りには、さまざまな税があります。例えば、中学校の中でいうと、教科書の代金や、机、いすなどの備品に税金が使われています。もしも、税がなければ、それらのものは全て私たち国民が負担することになります。それでは、私達の生活も苦しくなってしまいます。税は私達の生活をサポートしています。税があるおかげで、この世の中は成立していると思います。

税については主に、国会や県議会、市議会で話し合われます。そこでは、租税法律主義・課税の要件にのっとってとり行われます。課税の要件とは、新しい税を作る、または、現行の租税を変更するには、法律、または、法律の定める条件にのっとっていることを条件とすることです。日本には、約53種類の税金があるとされていますが、それら全ては、法律に基づいて定められています。つまり、税は私たち国民一人一人にとって平等なものであるといえます。

日本は民主主義国家です。何に対して課税するかと言ったことを定めた法律(税法)は、国会や県議会、市議会などによって定められています。私達は、それらの法律を決める代表者を選挙によって選ぶことができます。一人一人の有権者が、国民として納税の義務を果たすとともに、納められた税がより良く使われるよう、税について関心を持つことが大切です。それらは、私達が、納税者として、また、有権者としてある限りです。

選挙に参加することで、自分自身の理想の社会を作ることができるかもしれません。しかし、日本の投票率は半分に満たないほど低いです。また、特に若い世代の投票率はとても低いです。将来の日本を背負うのは間違いなく私達の若い世代で、絶対に変わることはありません。私は、選挙に参加することは国民の三大義務である教育、勤労、納税と並ぶほどの大切なことだと思います。

現在日本は少子高齢化と人口減少が重なり、過疎化が急速に進んでいます。一説によれば、ほとんどの道府県が滅亡してしまう恐れがあります。それを防ぐために税は、必要です。私たちに平等に与えられた税を維持するためには、国民の三大義務と加えて、有権者の選挙への参加が大切だと私は思います。

税金は、私たちの生活と未来を背負っています。この税の大切さを全員に理解してもらいたいです。

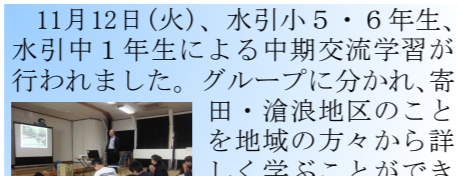
11月19日(火)、公益社団法人 川薩法人会の皆様から雑巾を寄贈していただき、生徒朝会の中で贈呈式を行いました。これからも、いただいた雑巾で、校内美化に意欲的に取り組んでいきます。本当にありがとうございました。

## 生徒会引き継ぎ総会!



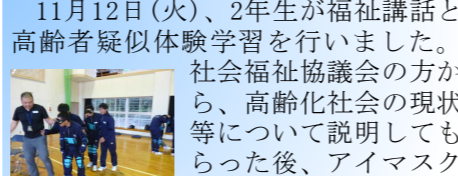
11月8日(金)、生徒会引継ぎ総会を行いました。当日は、新任学生会長の島田藍さんをはじめ新役員に学校長から任命状が手渡されました。また、新本部、各専門部から目標や年間計画についての説明が行われました。これからの水引中の中心となって、「生徒一人一人の意見を大切に、明るく元気な生徒会」を目指して活動していきます。

## ふるさとを学ぼう!



11月12日(火)、水引小5・6年生、水引中1年生による中期交流学习が行われました。グループに分かれ、寄田・滄浪地区のことを地域の方々から詳しく学ぶことができました。今回の学習を通して、子どもたちは多くのことを学び、改めて「郷土」を見つめ直す良い機会になりました。講師の皆様、お忙しい中、ご指導いただき、本当にありがとうございました。

## 福祉講話・体験学習!



11月12日(火)、2年生が福祉講話と高齢者疑似体験学習を行いました。社会福祉協議会の方から、高齢化社会の現状等について説明してもらった後、アイマスク等の装具を着け、ご高齢の方の体の動きを体験しました。また、11月14日(木)には、校区内にある福祉施設「はまかぜ園」を訪問し、実際にご高齢の方々との触れ合い体験学習を行いました。福祉に関して深く考える充実した学習になりました。

## 小中一貫教育・CSコーナー



11月12日(火)、3年生が水引小1年生と交流学习を行いました。3年生は、ドングリ等を使っておもちゃ作りを手伝ったり、家庭科の時間に作成した手作りのおもちゃと一緒に遊んだりしました。活動中、小1年生の子どもたちはとても楽しそうに中3年生と交流していました。優しさと思いやりにあふれた学習になりました。

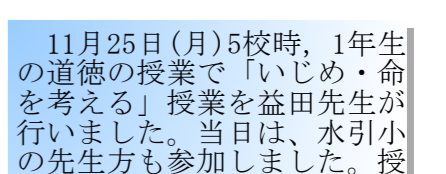


## 血液講話!



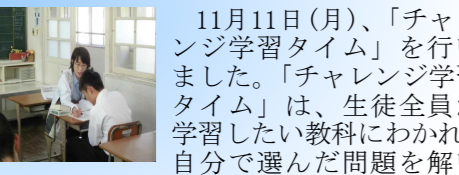
11月26日(火)6校時、講師に下園雄治先生をお招きし、3年生を対象に「血液講話」を行いました。血液の役割や、人間の生命維持に不可欠であること等とても大切なことを学ぶことができました。

## いじめ・命を考える研究授業!



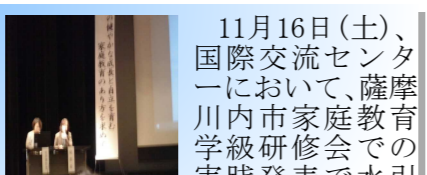
11月25日(月)5校時、1年生の道徳の授業で「いじめ・命を考える」授業を益田先生が行いました。当日は、水引小の先生方も参加しました。授業後は、生研益田先生の授業研究を「自己尊重の心」を軸に、むための小中連携はどうあればよいか』というテーマで小中の先生方が、活発な意見交換を行いました。

## チャレンジ学習タイム!!



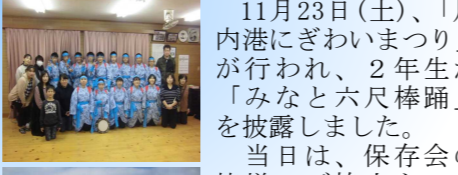
11月11日(月)、「チャレンジ学習タイム」を行いました。「チャレンジ学習タイム」は、生徒全員が学習したい教科にわかれ、自分で選んだ問題を解いたり、できなかった問題を先生方に質問等を行う学習です。当日は、2学期末テストが迫っていることもあり、生徒同士で教え合ったり、積極的に先生に質問したりする姿が見られました。

## 家庭教育学級発表!!



11月16日(土)、国際交流センターにおいて、薩摩川内市家庭教育学級研修会での実践発表で水引小中家庭教育学級が「広げよう 楽しい子育て 己育て」をテーマにこれまでの活動の成果をスライド等を用いて、わかりやすく発表を行いました。

## 港まつり!棒踊り出演!!



11月23日(土)、「川内港にぎわいまつり」が行われ、2年生が「みなと六尺棒踊」を披露しました。当日は、保存会の皆様のご協力をいただき、正式な衣装やわらじを身に付け、多くの方の前で、元よく踊りました。